

いちのへサポートファイル

～お子さんの成長の過程では～

お子さんの成長は、一人ひとり違うのが当たり前です。物事への関心や興味、人との関わり方や表現の仕方など、一人ひとり違う成長の仕方をしていきます。

しかし、その成長の過程で、
例えば、

○こだわりが強い ○落ち着きがない ○慎重すぎて何もやろうとしない。

など、それぞれの特徴から生活していく上でいろいろな不都合が起こることもあります。これは、大人から見ると気になることですが、お子さんの側に立って見ると、自分をうまくコントロールできない困った状態と言えます。この「困り」に対して、周りの大人が寄り添い、その「困り」に気づき、「困り」を減らしていくような方法を考え、支援をしていくことが必要になります。

これは、いわゆる「障がい」と言われる診断等があるお子さんだけに關わるのではなく、どちらのお子さんにも当てはまることかもしれません。

一戸町では、今回、この特別に支援が必要なお子さんについて、就学前から卒業後まで一貫した支援ができるように記録し引き継いでいくため、一戸町就学支援ファイル（通称 「いちのへサポートファイル」）をつくることとしました。

～サポートファイルって？～

子どもたちの「成長記録」の情報を、関係する方がたに知ってもらうためのものです。

また、成長していく子どもの姿をまとめていくことで課題が整理されて、困った時にもすぐに対応できます。

関係する方に同じ説明を何度もしないで、スムーズに支援してもらうため、そして、伝え忘れをしないためのものでもあります。



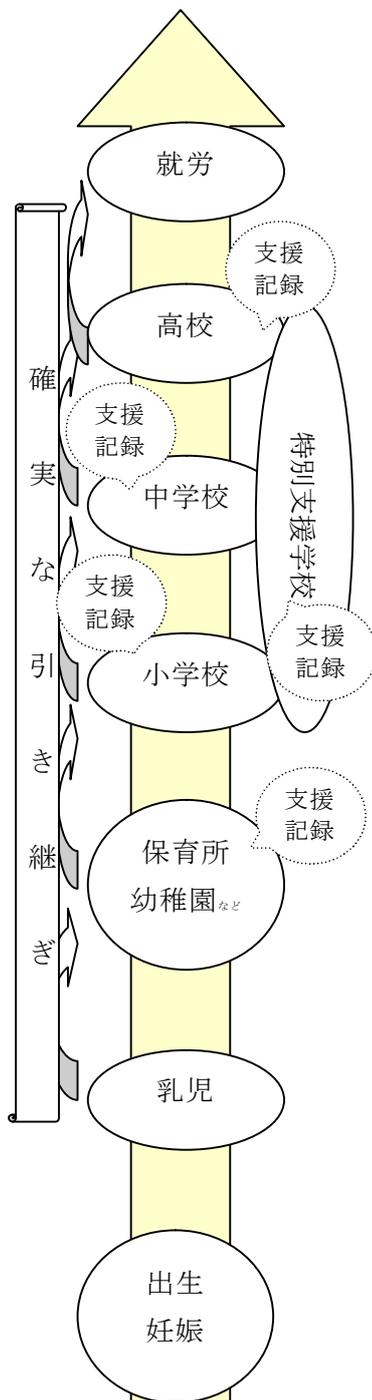
～どうやってつくるの？～

一戸町で行っている3歳児健診や5歳児健診の際に、保健師が相談し保護者から同意を得てつくり始めます。

保育所、幼稚園等に入所、入園後や小、中学校の途中でも先生から相談し、保護者からの同意を得てつくり始めることもあります。



〔就学前から卒業後までの支援のイメージ図〕



～書き方・作り方について～

＜書く人＞ 基本的には保健師、保育所、幼稚園等の先生、学校の先生等が書きます。必要な箇所は保護者の方にも記入してもらうこともあります。

＜作り方＞ 全部のページを記入するわけではありません。必要な部分だけに記入されていきます。

～だれが保管？～

就学前は、保健師または保育所、幼稚園で保管します。就学してからは、小学校、中学校で保管します。

～確かな引き継ぎ～

保育所、幼稚園等の卒園、小学校の卒業後は、担当の先生から次の担当の先生へ確実にファイルを引き継ぎます。

～いつでもみられます～

ファイルは、いつでも見られます。保管しているところにご連絡ください。子どもの特性について接し方、成長の記録などの情報をいつでも提示してもらい、みることができます。

～いつまで保管するの？～

中学校の卒業までは、学校で厳重に保管します。中学校卒業時に、保護者へお返しします。ただし、同意をしてくだされば、高等学校等へ引き継ぎます。高等学校等の卒業時には、保護者へお返しします。

～写しの保管～

保護者が同意してくだされば、高等学校等を卒業し保護者にお返ししたファイルのコピーを10年間保存させていただきます。

お気軽にご相談を



〈お問い合わせ先〉

一戸町教育委員会学校教育課 指導主事

一戸町健康福祉課 保健師

TEL 0195-33-2111 (学校教育課)

0195-32-3700 (健康福祉課)